

平成26年度 部局の実行計画一覧(確定版) 【図書館】

中期計画番号	中期計画/年度計画/部局の実行計画	担当理事/担当部局	達成水準	H25との比較
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置				
1 教育に関する目標を達成するための措置				
(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置				
001	① 学士課程教育の内容・成果に関する具体的方策 1)各学問領域における基礎的・基盤的な学力の修得に必要な教育(基礎教養教育領域)と社会の諸問題に目を向けて課題を発見し、解決に向けて取り組む姿勢を養う教育(インターフェース領域)など、体系的な教育を提供する新たな教養教育システムを構築する。 ②平成25年度新入生より導入した英語能力試験(全学統一英語能力テストTOEIC)の拡充、その結果に基づいた英語教育科目や習熟別クラス編成の実施、ネイティブスピーカーによる留学支援英語教育カリキュラムなど、グローバルな人材育成に向けた全学教育システムの整備を進める。 ④学生の英語能力向上を支援するため、全学教育機構と連携して関連する図書を附属図書館に整備する。	教育・学生担当理事	中長期ビジョンを具現化し構築された学士課程教育を支え、体系的な教育を提供する新たな全学教育を、全学教育機構(仮称)で実施している。 ・TOEICの実施状況 ・各学部、研究科の英語教育の実施状況	
004	4)学士力を保証するため、シラバスの充実、GPAの活用などの単位制度の実質化に向けた諸方策や到達度把握による学習評価など、学士課程における学習成果を総合的に判断する仕組みを整える。 ①「シラバス作成の手引き」を充実し、「シラバスの点検及び改善に関する要項」を定め、到達度把握を考慮したシラバス点検表に基づくシラバスの組織的な点検を実施して、シラバスの改善と充実を行う。また、単位制度をより実質化するため、GPAの検証方法を改善する。 ④引き続き、シラバスの充実を支援するため、シラバスに掲載された参考書を附属図書館に整備する。	教育・学生担当理事	学士課程における学習成果を総合的に判断する仕組みが、全学的に導入されている。 ・シラバスの点検及び改善に関する要項 ・シラバス作成の手引き ・シラバス点検表 ・シラバス点検結果報告書 ・シラバス改善例(シラバス点検結果報告書に記載) ・ラーニング・ポートフォリオ学習時間 ・GPA活用に関する検証・改善報告書	新規
		附属図書館	整備図書一覧	同様
(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置				
013	① 教育環境の整備に関する具体的方策 1)ICTを活用した教育環境を整備し、自学自習スペースを充実する。 ②各学部及び附属図書館は、自学自習スペースの再整備を進め、自学自習環境の改善・充実及び利活用の促進に取り組む。 ④自学自習スペースの再整備を進め、自学自習環境の改善・充実及び利活用の促進に取り組む。 ④②を達成するため、附属図書館のラーニングコモンズについて全学教育機構の「インターフェース科目」授業担当教員等と連携して再整備を行う。 ・ラーニングコモンズ利用促進策の1つとして、附属図書館で学生を発表者とした知的書評台戦「ビブリオバトル」を開催する。	教育・学生担当理事	・ICTを活用した授業外の自学自習用コンテンツを提供し、学生が積極的に利用している。 ・現在あるすべての自学自習室の情報環境が充実している。 ・各学部及び附属図書館等における自学自習スペースの学習環境充実の取り組み内容と、それによる充実状況(スペース拡充、設備環境、利用環境、利用実績等の観点からのデータ)	
		附属図書館	自学自習スペースの学習環境充実の取り組み内容と、それによる充実状況(スペース拡充、設備環境、利用環境、利用実績等の観点からのデータ)	同様
		附属図書館	・全学教育機構との打ち合わせ内容及びそれに基づく改善内容 ・ビブリオバトルの開催状況	新規 全学教育機構等の連携
(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置				
016	2)学生の生活支援、社会活動支援などを充実するとともに、学生のメンタルヘルスクアを強化する。 ③引き続き、キャリアセンターと各学部は、「佐賀大学キャリアガイダンス実施方針」に基づき、各学部等の教育目的に即したキャリアガイダンスを実施するとともに、正課外における就職活動支援策の強化を図る。また、教育委員会は、各学部の実施状況及び実施計画を取りまとめる。 ④引き続き、学生の就職活動を支援するため、キャリアセンター等と連携して関連する図書を附属図書館に整備する。	教育・学生担当理事	・経済的理由により修学を途中で断念(退学、除籍)する学生が少なくなる。 ・課外活動やボランティアへの積極的参加を支援する体制が充実している。 ・本学の就職支援に対する信頼度ないし満足度が向上している。 ・学生相談員等による学生相談・カウンセリングにより健康生活の支援を受けることができる。 ・大学入門科目におけるキャリア教育の実施、シラバス・キャリアガイダンスの実施状況報告及び実施計画	
		附属図書館	整備図書一覧	同様
2 研究に関する目標を達成するための措置				
(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置				
017	① 研究水準の向上に関する具体的方策 1)将来的にある基礎的・基盤的研究への支援や若手研究者の育成に重点的に取り組み、研究活動を活性化させる。 ②大学院生やポスドクを含む若手研究者の育成・確保に向けた組織的支援を継続する。また、若手研究者育成の方策を検討する。 ④前年度に実施したアンケート結果に基づき、若手研究者、特に大学院生に対してスコアパスの広報を徹底し、利用説明会を実施する。	研究・国際・社会貢献担当理事	・研究シーズの選定、支援、評価体制が改善されていること。 ・論文等により、基礎的基盤的研究成果が1期より上がっていること。 ・若手研究者が採用され、研究活動が活発に行なわれ、論文等の実績があること。 ・プロジェクトの選定、支援、評価が継続されていること。 ・若手研究者への研究支援実績と研究成果、成果の公表状況 ・テニュアトラック制度やURA等の情報収集と検討 ・年俸制導入等の人事制度改革による研究活性化の検討と情報収集	
		附属図書館	・アンケート結果 ・広報状況 ・説明会開催状況	同様 アンケート結果
3 その他の目標を達成するための措置				
(1) 地域を志向した教育・研究に関する目標を達成するための措置				
065	1)「地域と共に未来に向けて発展し続ける大学」として、「コミュニティ・キャンパス佐賀アクティベーションプログラム」を推進すること等を通じて、全学的な教育カリキュラム・教育研究組織の改革を行い学生の地域に関する知識・理解を深める。さらに、地域の課題(ニーズ)と大学の資源(シーズ)の効果的マッチングにより地域社会と大学が協働して課題を共有し、課題解決に向けた取組を推進する。 その取組の中で、佐賀県との協働により、地域の振興を視野に入れた農業に関する新たな教育課程の開発を目指す。 ①「コミュニティ・キャンパス佐賀アクティベーション・プログラム」(文部科学省、地(知)の拠点整備事業)を推進し、教育研究の成果を地域社会に還元するとともに、地域課題の解決に取り組む。また、「地域志向教育研究経費」等を活用し、地域課題の解決に向けた地域を志向する教育研究に取り組む教員を掘り起こし、教育研究を推進する体制を構築する。 ④「コミュニティ・キャンパス佐賀アクティベーション・プログラム」の各プロジェクトにおける学生のアクティブラーニングを支援する図書館の学術環境について、プロジェクト関係者と意見交換を行う。 ・「コミュニティ・キャンパス佐賀アクティベーション・プログラム」の各プロジェクトと連携して、学生の地域課題解決の取組において参考となる図書を附属図書館に整備する。	研究・国際・社会貢献担当理事	・実質的に本年度スタートする事業の着実な実施 ・上記の事業を推進する地域を志向する教育研究を実施する教員数・授業科目の増加	
		附属図書館	・知の拠点整備事業に基づく研究教育の成果具体例 ・上記の事業を推進する地域を志向する教育研究を実施する教員数・授業科目を増加させる ・上記を社会に還元した具体例 ・知の拠点整備事業で取り上げた課題件数と取り組み事例及び地域志向型教育研究を実施する教員数、及びシラバス ・プロジェクト関係者との意見交換内容等 ・整備図書一覧	新規

平成26年度 部局の実行計画一覧(確定版) 【図書館】

中期計画番号	中期計画／年度計画／部局の実行計画	担当理事／担当部局	達成水準	H25との比較
(3)国際化に関する目標を達成するための措置				
029	②国の「留学生30万人計画」を視野に入れ、質の高い留学生を受け入れるための環境(入学、学習、生活、就職)を整備する。	教育・学生担当理事	・質の高い留学生が在籍し、日本人学生との交流が増加している。 ・個人レベルに応じ、実践的な場面で使うことのできる日本語教育が実施されている。 ・私費留学生向けの奨学金が安定的に給付されている。 ・留学生用宿舎の確保と増加がなされている。 ・日本企業への就職が広がっている。 ・留学生向けの効果的なキャリア教育が実施されている。	
	③全学教育機構は、前年度に検討した改善策に基づき、学生の日本語レベルや属性に対応した実践的な日本語教育を実施し、実施状況を検証する。また、引き続き、留学生のためのオフィスアワーの設置等学習支援の整備を行う。		・外国人留学生プログラムのための授業科目等における日本語教育の実施状況(時間割、履修状況、検証・改善結果) ・オフィスアワーの開設状況 ・留学支援英語教育カリキュラムの実施状況	
	④引き続き、留学生に対する日本語教育を支援するため、全学教育機構等と連携して関連する図書を附属図書館に整備する。	附属図書館	・整備図書一覧	同様
Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置				
2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置				
054	①省エネルギー対策を踏まえた光熱水料の削減計画を策定し、経費の一層の抑制を図る。 ①「平成25年度経費削減計画」の各部局の目標削減率の達成状況を検証し、「平成26年度経費削減計画」に反映することにより、経費の一層の削減を図る。また、引き続き経費抑制を図るため、省エネ効果の高い設備等の整備を行う。	総務担当(室長)	削減計画の策定及びその計画が実行されること。 ・今般の大変厳しい財政状況を踏まえ、経営合理化の徹底を前提に、光熱水料だけでなく経常経費の見直しを図り、経費削減を更に推進する観点から、「平成25年度削減計画」の各部局の目標削減率の達成状況を検証する ・その効果等について確認し、「平成26年度削減計画」を策定し、全学的に経費削減に取り組み、経費の一層の抑制を図る 【平成26年度削減計画の策定】	
	②平成26年度経費削減計画に基づき、経費の一層の抑制を図る。	附属図書館	平成25年度削減計画に基づき目標削減率の達成状況の検証を行い、財務課に報告すること。 ・平成26年度削減計画のための取組計画及び目標削減率を作成すること。 【平成25年度削減報告書(仮称)、平成26年度削減計画】	新規
Ⅳ 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置				
2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置				
057	①社会、ステークホルダーに適した方法により、教育研究活動や大学運営に関する情報を効果的に発信する。 ①前年度のアンケートなどの検証を踏まえた上で、効果的な広報活動を継続させるために、情報収集・発信の体制を強化し、広報内容の充実を図る。 ④引き続き、教育研究活動の社会への発信を支援するため、紀要論文、博士論文等の研究成果を機関リポジトリに登録して情報発信する。	企画・財務・労務担当理事 渉外・医療担当理事 (企画・財務・労務担当理事)	ステークホルダーごとに適した方法により大学情報が発信されていること。 ・ステークホルダーごとに適した情報発信の検証 ・教育研究活動の情報発信状況	
		附属図書館	・機関リポジトリへの論文登録状況	同様
Ⅴ その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置				
2 安全管理と環境に関する目標を達成するための措置				
060	①学生、教職員の安全確保を図るため、防災対策や安全に配慮した環境づくりに組織的に取り組む。 ②災害、事件・事故等の有事に備えるため、防災訓練等を実施するとともに、検証結果を反映させる。また、学生の修学における安全対策への周知と意識啓発は、入学式等で配布する「災害対策ノート」や「安全の手引き」を講義開始前などで活用することにより行う。 ④引き続き、災害、事件・事故等に備えるため、防災訓練等を実施する。	医療担当理事	労働安全衛生法に基づく「安全」と「衛生」及び防災対策に関する各種の取組みが行われ、安全な職場環境並びに安全なキャンパス環境が確保されていること。 ・防災訓練の実施状況 ・「安全の手引き」等の周知状況	
		附属図書館	・防災訓練の実施状況	同様
061	②「エコアクション21」の環境活動を通して大学における環境マネジメントシステムを確立する。 ②引き続き、学生教職員に対する環境教育を推進するとともに、学生による「エコアクション21」の取り組みを支援する。 ④引き続き、学生・教職員に対する環境教育の推進を支援するため、環境安全衛生管理室等と連携して関連する図書を附属図書館に整備する。	医療担当理事	「エコアクション21」に沿った各種の環境活動の展開により全学的な環境マネジメントがシステムとして機能していること。 ・環境マネジメントに関する研修会の実施 ・研修会実施概要 ・学内の各種研修会等に環境に関する内容を組み込む ・研修会及び講演会等実施概要 ・環境教育日程表 ・外部機関実施の研修会、講演会への積極的な参加 ・外部機関実施の研修会、講演会の参加状況 ・エコアクション21学生委員会の活動を支援する ・エコアクション21学生委員会への支援実績資料	
		附属図書館	整備図書一覧	同様
3 情報基盤の強化に関する目標を達成するための措置				
062	①情報基盤のセキュリティ強化のため、規程等の整備、技術的セキュリティ対策及び教育を継続的に行う。 ①情報基盤のセキュリティ強化のため、技術的セキュリティ対策及び教育を継続して行う。 ④引き続き、情報リテラシー・セキュリティ教育を支援するため、総合情報基盤センター等と連携して関連する図書を附属図書館に整備する。	研究・国際・社会貢献担当理事	平成19年11月策定の「佐賀大学セキュリティポリシー(改訂版)」に基づいて設定した、各年度の計画が、粛々と実施されていること。 ・セキュリティ講習会の実施 ・セキュリティ対策システムの設定の見直し ・次期学術情報基盤システム導入に当たってのセキュリティ要件の検討	
		附属図書館	・整備図書一覧	同様
4 男女共同参画の推進に関する目標を達成するための措置				
063	①男女共同参画の基本方針を踏まえ、男女共同参画を推進する体制を整備し、教育研究環境の整備を進める。 ①男女共同参画推進委員会において、本学の男女共同参画推進の状況の検証・評価を行い、その結果をもとに全学的な男女共同参画推進の方策の見直しを図る。また、引き続き、本学の男女共同参画基本方針に沿って、ワークライフバランスに配慮した働きやすい環境整備を進める。 ④引き続き、男女共同参画の推進を支援するため、男女共同参画推進室等と連携して関連する図書を附属図書館に整備する。	企画・財務・労務担当理事	男女共同参画を推進する体制が整備され(委員会設置等)、行動計画を策定し、それに沿った取組が実行されていること。 ・男女共同参画推進委員会における検証・評価の実績 ・男女共同参画推進委員会における男女共同参画推進の方策の見直し実績 ・男女共同参画推進室の3つの部門(ワークライフ・バランス支援部門、キャリア支援・女性研究者支援部門、意識啓発・広報部門)における男女共同参画推進のための事業の実績 ・各学部、各センター及び事務局等における職場環境整備の実績	
		附属図書館	整備図書一覧	同様